

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
外国語2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	4期	黒木 豊域				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
<p>グローバル化するわが国において、外国人観光客・在留外国人は年々増加傾向にある。これに伴い、柔道整復師が外国人患者へ柔道整復術の施術を行う機会が増大が見込まれている。この科目では、高度に訓練された柔道整復師が、英語にてわが国特有の伝統的医療法を説明し、患者が来院してから会計を済ませるまでの一連の流れの実践テーマに添って、問診、説明、施術の英語による演習を行う。中学や高等学校教育の英語と異なり、会話する英語の習得を目標とし、毎回の授業は声を出して話すことと表情やジェスチャーなどの非言語により意思を伝えることに焦点が当てられている。また、人体や施術に関わる英語の専門用語を習得することも目標としている。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	外国語1の授業を踏まえ、英語にてコミュニケーション(言語・非言語)を図りながら受付、診断、施術、会計が行える柔道整復師を目指す。						
<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 英語にて人体に関する用語や柔道整復師に関わる専門用語を理解できる 2. 受付から診察を英語でできる 3. 人体に関する用語を用いて診察および施術ができる						
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	30	30		30	10		100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	授業の導入 What is Judothapist			vii			
第2回	単語テスト① What is Judothapistの暗誦 触診 Palpaton1			18-19			
第3回	単語テスト② 触診 Palpaton2			20-21			
第4回	単語テスト③ 超音波機器 Using Ultrasound			24-25			
第5回	単語テスト④ 診断 Examination Results			28-29			
第6回	単語テスト⑤ 施術1 Treatment 1			32-33			
第7回	単語テスト⑥ 施術2 Treatment 2			34-36			
第8回	会計 Payment			36-28			
第9回	定期試験の準備						
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
kurogi-t@nihonisen.ac.jp							